

安全・安心なまちづくり事業について

県民生活課

1 事業の目的

県民、地域の防犯意識の高揚や自主的な防犯活動の促進、犯罪被害者等への支援を行うとともに、除排雪の安全対策や担い手育成等に取り組むことにより、安全で安心なまちづくりを推進する。

2 事業の概要

(1) 防犯活動推進事業

371千円

- (拡)安全・安心まちづくりの関係者会議(秋田市)及び地域会議(能代市、由利本荘市)の開催
- 自主防犯活動優良団体等の表彰(5団体)
- 防犯カメラの設置及び運用に関するガイドラインの周知

(2) 犯罪被害者等支援事業

5,828千円

- 犯罪被害者週間「県民のつどい」の開催(秋田市)
- 「犯罪被害を考える日」の啓発(県内3か所)
- 市町村等担当者研修会の開催
- あきた性暴力被害者サポートセンターの運営

(3) 雪対策推進事業

12,597千円

①除排雪安全対策啓発事業

(369千円)

- 除排雪中の安全対策の啓発(雪害事故防止週間の設定、ポスター、リーフレット、各種広報媒体の活用等)
- 警察や消防との連携による雪下ろし安全対策に関する講習会の開催
(県内各地16回)

②地域除排雪団体等担い手育成事業

(8,051千円)

- 除排雪を行う団体の立ち上げ等の支援(県内3か所)
- 団体の設立に要する経費への助成
(補助団体数:10団体、補助率:10/10、上限額:100千円)
- (新)新たな担い手を確保するための交流会の開催(横手市)

③雪下ろし安全対策助成事業 (3,000千円)

○雪下ろし等の安全対策工事に要する経費への助成

(補助件数：30件、補助率：1/2、上限額：100千円)

- ・対象地域：特別豪雪地帯を有する13市町村
- ・対象者：65歳以上の高齢者のいる世帯等
- ・対象工事：命綱の固定金具の設置
屋根への融雪装置の設置 等

④(新)第3次豪雪地帯対策基本計画等策定事業 (1,177千円)

○第3次秋田県豪雪地帯対策基本計画及びアクションプログラムの策定

○地域振興局ごとの雪対策連絡協議会の開催

3 予算額

18,796千円

第3次秋田県豪雪地帯対策基本計画等の策定に向けて

雪による人的被害の状況

単位：人

区分	H25	H26	H27	H28	H29
死者数	17	11	3	5	6
高齢者	13	8	2	4	5
重傷者数	70	57	34	48	80
高齢者	42	31	18	29	42
軽傷者数	74	26	32	49	42
高齢者	37	12	15	37	23
合計	161	94	69	102	128
高齢者	92	51	35	70	70

※平成29年度は2月16日現在である。

第3次計画の方向

- 第2次秋田県豪雪地帯対策基本計画で定めた
 - ①「交通及び通信の確保」
 - ②「農林水産業、商工業その他の産業の振興」
 - ③「生活環境施設の総合的な整備」
 - ④「国土保全施設の総合的な整備」
 - ⑤「その他豪雪地帯振興施策の推進」
 の5つの基本的方向を継続して推進する。
- 地域の枠を越えた除排雪体制の構築や高齢者の雪による事故防止などの観点を取り入れて検討

第3次計画等策定のスケジュール（案）

- 4月 骨子案作成
- 5月 外部委員会の開催
- 6月 県議会に素案を説明
- 7月 パブリックコメントの実施
市町村からの意見聴取
- 8月 外部委員会の開催
- 9月 県議会に最終案を説明
- 10月 施行（H30～H34）

第2次計画における主な取組の成果と課題

5つのテーマ	主な取組の成果	課題
地域支え合い体制の強化 テーマ1	①雪下ろし等除排雪中の事故防止 ○雪害事故防止週間を設定し、様々な広報媒体により、安全対策の普及啓発を行ったほか、支援員の配置等により、除排雪の担い手の育成・確保を図った。 ②雪処理の担い手の育成・確保 除排雪に取り組む団体の設立状況（団体） 目標値：28 H28：30 ③地域の実情に応じた雪対策の推進 ○各地域振興局単位で、雪対策の関係者による意見交換会を開催し、取組等について情報共有・連携強化を図った。	○除排雪中の事故防止に向けて、関係機関等と連携したより効果的な安全対策の普及啓発を図る必要がある。 ○少子高齢化の影響により、除排雪等の担い手不足が生じており、除雪ボランティアや、除排雪に取り組む団体の立ち上げ等が必要である。 ○地域において関係機関との連携を強化しながら雪対策に取り組んでいく必要がある。
雪に強いまちづくり テーマ2	①道路交通及び歩行者空間の確保 ○市町村と連携し、相互に除雪を行うなど、道路除雪の効率化を図った。 無散水融雪施設延長（km） 目標値：48.5 H28：53.2 ②克雪化住宅の促進 克雪化した住宅数（融雪装置設置） 目標値：60戸（単年） H28：28戸 ③空き家対策 ○空き家対策について財政支援の拡充を国に働きかけたほか、雪対策連絡協議会や担当者会議を開催するなど、市町村との情報共有や連携強化を図った。	○除雪機械の老朽化、オペレーターの高齢化により除雪体制の確保が課題となっている。 ○雪下ろしの安全対策や負担軽減に向けた対策を充実させる必要がある。 ○住民の安全・安心確保の観点からも空き家の除排雪等を適切に行う必要がある。
雪国産品の振興 テーマ3	①生産性の高い農業の確立 ○所得向上のため周年型農業や6次産業化などに取り組む農業法人に対し支援を行った。 周年型農業に取り組む累計農業法人数（法人） 目標値：159 H28：178 農業施設における新エネルギー等の暖房設備導入数（台） 目標値（単年）：5 H28：6 ②産業の振興等 ○県内酒蔵への技術支援により、18の酒蔵で「AKITA 雪国酵母」を使った日本酒が本格的に製造された。	○冬期間の農業収入確保のため、周年型農業や6次産業化に取り組む法人について、生産規模の拡大や販売力の強化を図る必要がある。 ○秋田県産酒の販売額を増加させるため、消費者ニーズの高い日本酒を開発する必要がある。
防災対策の強化 テーマ4	①施設整備等による災害防止対策 ○災害防止の観点から、雪崩防護柵や砂防ダム等の施設整備を計画的に進めている。 県管理道路の雪崩対策累計施設延長（km） 目標値：24.8 H28：25.8 地すべり危険箇所の対策実施率（%） 目標値：26.0 H28：25.2 ②災害発生時の対応及び災害の予防 ○総合防災情報システムを導入し、機器操作研修を実施した。 ○総合防災訓練や自主防災組織育成指導者研修会を開催した。	○雪崩対策設備について、適切な維持管理と更新が課題となっている。 ○少子高齢化の影響による地域防災の担い手確保が課題となっている。
雪に親しむ生活 テーマ5	①雪に親しむ活動等の促進 ○冬季スポーツ大会開催のほか、学校でのスキー教室、雪山体験や自然観察会など、冬ならではの体験活動が実施された。 冬季スポーツ大会の開催数 目標値（単年）：1回 H28：2回 スキー教室等実施率（%） 目標値：58.0 H28：58.9 ②雪冷熱エネルギー等の利用促進 ○東成瀬村との協働事業で整備された農産物周年栽培施設で、レタスと仙人ゆりの実証栽培が行われた。	○冬季スポーツ大会の観客の多くが県内からであり、県外からの誘客を更に進める必要がある。 ○雪冷熱を利用した農産物等については、市場ニーズの見極めやコスト低減が課題となっている。